

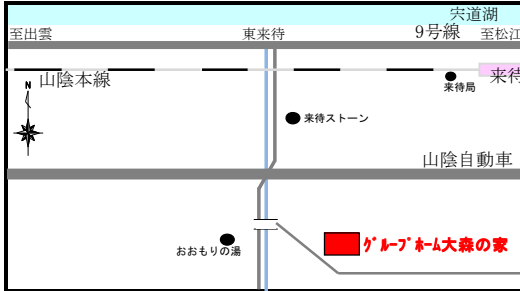
認知症対応型共同生活介護事業所に係る情報

(平成20年11月10日 現在)

1) 事業主体の概要

事業所名	グループホーム大森の家	所在地	〒699-0405 島根県松江市宍道町上来待204番地4
開設年月日	平成18年3月1日	事業主体	有限会社 コナン
管理者	永瀬 広子	代表者	増原 真一
電話番号	0852-66-7020	ユニット数と利用定員	2 ユニット 利用定員 18 人
FAX番号	0852-66-7030	事業所の併設施設	認知症高齢者デイサービスおおもり 居宅介護支援事業所(休止中)
協力医療機関名	来待診療所・田中医院・昭和歯科		
交通の便 (最寄りの交通機関等)	JR来待駅から車で10分		

<近隣図>



<建物の概観>



2) 事業の目的及び運営の方針

(事業の目的) 本事業は、要介護者(要支援2を含む)であって認知症の状態であるものについて共同生活住居に置いて、家庭的な環境の下で入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るようにすることを目的とする。(運営の方針) 1. 事業所の指定認知症対応型共同生活介護従業者は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った指定認知症対応型共同生活介護の提供に努めるものとする。2. 指定認知症対応型共同生活介護の提供に当たっては、関係市町村、居宅介護支援事業者その他地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図りながら、常に利用者の認知症の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて適切に行う。3. 前項の規定に基づき提供した認知

3) 認知症対応型共同生活介護事業所以外に事業所として指定等を受けている事業及び加算

- 指定介護予防認知症対応型共同生活介護
- 指定認知症対応型通所介護
- 医療連携体制加算
- 短期利用共同生活介護

4) 建物の概要

建物形態	<input type="checkbox"/> 単独型 <input checked="" type="checkbox"/> 併設型
建物構造	(木造瓦葺平屋) 造り (1階建ての 1階部分)
広さ等	敷地面積(1692.73)㎡ 延床面積(686.225)㎡ 1室当たりの居室面積()㎡
2人部屋の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

5) 利用料等(入居者の負担額)

家賃	(40,000)円	
敷金	<input type="checkbox"/> 有()円 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
保証金の有無(入居時一時金)	<input type="checkbox"/> 有()円 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
有りの場合 保全措置の内容		
有の場合償却の有無	<input type="checkbox"/> 有(期間:) <input type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食()円 昼食()円 夕食()円 おやつ()円 又は1日(1,300)円	
その他の費用と徴収方法		
名目	徴収方法	金額(円)
①理美容代	直接業者に支払い(本人持ち、又はお小遣いとして預かり金より)	実費
②おむつ代	家族持参、又は直接業者に支払い(お小遣いとして預かり金より)	実費
③その他		
・水道光熱費	利用料と共に請求	700円 / 日
・医療費	直接家族が、医療機関に支払い	実費
・日用品立替	(お小遣いとして預かり金より)	実費

6) 利用者の概要

現在の利用者の状態 ※介護予防指定認知症対応型共同生活介護を提供している場合、要支援者2の数を記載すること	利用人数(18名)(男性(4名)女性(14名)) 要介護1(4名) 要介護2(1名) 要介護3(9名) 要介護4(4名) 要介護5(0名) 要支援2(0名) 年齢(平均 87.5歳)(最低 79歳)(最高 100歳)
利用に当たった条件	・少人数による共同生活を営むことに支障が無いこと。 ・自傷他害の恐れが無いこと。 ・常時医療機関において治療をする必要が無いこと。
退居に当たった条件	・入居後利用者の状態が変化し、上記に該当しなくなった場合は退去して頂くこともある。
開設以来の退居者数	人数 (13) 人 主な理由 退居先 ・介護度のアップが考えられた (高齢者住宅) ・家族が入居前から施設希望 (介護保険施設) ・医療の必要な状態 (病院) ・ () ・ ()

7)-1 職員の概要 (複数のユニットがある場合には、各ユニットごとに作成すること。)

(ひまわり)ユニット	総数	(11 名) (内数) ・常勤 (専任 6名) (兼務 1名) } 常勤換算 (6.19 名) ・非常勤 (4名)
		※職員の勤務時間を1週間当たり40時間とした場合の常勤換算数。 職員の1週間の勤務延時間数 注)(247.8 時間)÷40時間=常勤換算数(6.19 名) 注)勤務延時間数には、宿直時間数は含まない。
	夜間の体制	■専任 □兼務(兼務の施設) ■夜勤(1名) □宿直(名)
	管理者 氏名(永瀬 広子)	■専任 □兼務(兼務の施設) 資格(准看護師) 認知症介護の経験年数(2年 7ヶ月) 認知症介護に関する研修の受講歴 ・認知症介護実践研修(実践者研修) ■受講済 □未受講 (実践リーダー研修) ■受講済 □未受講 ・認知症対応型サービス管理者研修もしくは 認知症高齢者グループホーム管理者研修 ■受講済 □未受講 ・上記の研修の他に受講した研修名 () ()
	計画作成担当者 氏名(永瀬 広子)	介護支援専門員資格 ■有 □無 他の資格(准看護師) 認知症介護の経験年数(2年 7ヶ月) ・認知症介護実践研修(実践者研修) ■受講済 □未受講 (実践リーダー研修) ■受講済 □未受講 ・上記の研修の他に受講した研修名 () ()
その他の職員	資格 介護福祉士(1名) 介護支援専門員(名) その他(ヘルパー2級)(5名) 認知症高齢者のケアの経験年数(平均 年 ヶ月) ・認知症介護実践研修(実践者研修) □受講済 □未受講 (実践リーダー研修) □受講済 □未受講 ・認知症介護指導者研修 □受講済 □未受講 ・上記の研修の他に受講した研修名 () 受講済者(名) () 受講済者(名)	
職員の交代状況	① 管理者の交代回数 (3) 回 (理由) 退職 ② 計画作成担当者の交代回数 (2) 回 (理由) 系列事業者への移動・退職 ③ 常勤職員の交代回数 () 回 (理由)	

7) 2職員の概要 (複数のユニットがある場合には、各ユニットごとに作成すること。)

(あさがお) ユニット	総数	(10 名) (内数) ・常勤 (専任 4名) (兼務 1名) } 常勤換算 (5.41 名) ・非常勤 (5名)
	※職員の勤務時間を1週間当たり40時間とした場合の常勤換算数。 職員の1週間の勤務延時間数 注)(216.4 時間)÷40時間=常勤換算数(5.41 名) 注)勤務延時間数には、宿直時間数は含まない。	
	夜間の体制	■専任 () □ 兼務 (兼務の施設) ■夜勤 (1名) □ 宿直 (名)
	管理者 氏名(永瀬 広子)	■ 専任 () □ 兼務 (兼務の施設) 資格 (准看護師) 認知症介護の経験年数 (2年 7ヶ月) 認知症介護に関する研修の受講歴 ・認知症介護実践研修(実践者研修) ■受講済 □未受講 (実践リーダー研修) ■受講済 □未受講 ・認知症対応型サービス管理者研修もしくは 認知症高齢者グループホーム管理者研修 ■受講済 □未受講 ・上記の研修の他に受講した研修名 () ()
	計画作成担当者 氏名(佐藤 幸子)	介護支援専門員資格 ■有 □無 他の資格 () 認知症介護の経験年数 (16年 10ヶ月) ・認知症介護実践研修(実践者研修) □受講済 ■未受講 (実践リーダー研修) □受講済 ■未受講 ・上記の研修の他に受講した研修名 () ()
その他の職員	資格 介護福祉士 (2名) 看護師 (1名) その他 (ヘルパー2級) (5名) (ヘルパー3級) (1名) 認知症高齢者のケアの経験年数 (平均 年 ヶ月) ・認知症介護実践研修(実践者研修) □受講済 □未受講 (実践リーダー研修) □受講済 □未受講 ・認知症介護指導者研修 □受講済 □未受講 ・上記の研修の他に受講した研修名 () ()	
職員の交代状況	① 管理者の交代回数 (3) 回 (理由) 退職 ②計画作成担当者の交代回数 (3) 回 (理由) 退職 ③常勤職員の交代回数 () 回 (理由)	

8) その他

医療連携体制の状況 (看護師の確保方法) 運営推進会議 の設置状況	■職員として配置 □契約 (契約先名称) ■有 □無 開催状況 (2ヶ月 に 1回) メンバー構成 (役職等) 市町村職員…松江市 地域包括支援センター 職員…湖南地域包括支援センター 地区代表 ・ 地区社会福祉協議会会長 更生保護婦人会長 民生児童委員 入居者家族、入居者、役員、職員
入居者の家族会等の有無	■有 □無
家族の面会時間の設定の有無	□有 (時～ 時) ■無
直近の外部評価公表日 (市町村が受理した日)	平成 20年 1月 14日
特に力を入れている点 アピールしたい点	近隣の幼稚園と交流があり、散歩の途中で立ち寄られたり、運動会にも声をかけて下さっている。 毎月1回のハーモニカボランティアや、いたわりの会のボランティアも先方から声をかけて下さり行っている。 毎月かわら版の発行をしている。